

6
月



美園小だより

平成29年5月31日
さいたま市立美園小学校
第74号 児童数1,366名
Tel 048(812)6611
Fax 048(878)6660

経験・体験を成長の糧に

校長 佐々木 清隆

1学期がスタートし、あっという間に運動会当日を迎えました。5月に入り急な暑さで体が慣れない中、子どもたちは砂ぼこりにまみれながら仲間と力を合わせて、一生懸命に練習に取り組んできました。保護者、地域の皆様には、見学、撮影等で御協力をいただきありがとうございました。当日は、紅組・白組団長の力強い「選手宣誓」で大運動会が始まりました。表現種目では、1、2年生が音楽に合わせて体全体で自分自身を豊かに表現していました。3、4年生の「花笠音頭」と「FLAGS」は、花笠や色とりどりの旗を使う手さばきがとても上手でした。5年生の「ロックソーラン」は、一人ひとりの演技がしっかりとっていて、学年としての力強さやたくましが伝わってきました。6年生の「STEP UP 6～美園小とともに～」は、組体操の危険が全国で指摘される中、子どもたちと先生方が校庭や体育館で練習を積み重ねてきました。土台の人、その上に乗る人、お互いを信じ、力を組み合わせて創り上げました。開校と共に成長してきた子どもたちの絆を観ることができた「STEP UP 6」でした。また、紅白応援団員の演技や金管バンドのドリルフォーメーションの演奏も練習の成果が十分に現れていました。

運動会で一人ひとりが経験したこと、学んだことを大切にしてほしいと思いました。

平成二十九年 運動会 選手宣誓
僕たち選手一同は 今日の日に向けて
一生懸命 練習してきました
紅組は 心とひとつに 声を掛け合い
優勝を目指します
白組は 全学年 一致団結し
優勝を目指します
また 運動会のスローガンである
「絆 ひかりかがやけ 美園ヒーロー
ズ」
を目指し 紅白（あかしろ）ともに
仲間を信じ

教室の中では、十分に目的が達成されない学習活動があります。その一つに5年生の「総合的な学習の時間（一粒の種から広がる私たちの世界）」に行う学習があります。これは、私たちが食べているお米が、多くの人の手を経て作られていることを、体験を通して学ぶ学習です。指導する教員も知らないことが多くあります。今年も15日に毎年お世話になっている小泉様の田んぼで田植えを行い、その学習がスタートしました。田んぼに足を入れたとたん、その土の感触に子どもたちは、「ぬるぬる」「気持ちいい！」「おもしろい」など様々な声をあげていました。「一つの苗からお米の粒が何粒できるのですか」と質問をしている児童もいました。最後に小泉様が、「この田植えの体験は、一生に一度、今回限りかもしれません。苗を植えた時の手や足の感触を忘れないでください。9月に稲刈りをするのでまた来て下さい。」と話されていた言葉が心に残っています。きっと子どもたちは、ご飯を食べるときに、田植えの時に感じたあの感触を思い出すのではないかと思います。改めて貴重な体験をさせていただきました。



<子どもたちに説明をする小泉様>

テレビ等を介して感覚的に学ぶ「間接体験」が多くなった今、運動会や田植え、チャレンジスクールなど、人と人、人と物とが直接関わり合い、その時にしか出会うことができない経験や体験を成長の糧にしてほしいと思いました。

運動会等、教育活動への保護者、地域の皆様の温かい御支援、御協力に改めて感謝申し上げます。